

調査速報

外食需要動向（2019年11月）

家計の実質外食支出は前月の落ち込みから回復へ

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2019年11月の1世帯あたり実質外食支出は全国が前月比7.8%増（前年同月比0.9%増）、関東地方も同10.4%増（同5.0%増）となった。
- 2019年11月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比2.6%増となった。
- 外食産業売上高の内訳をみると、客単価（前年同月比1.7%増）と客数（同0.9%増）がともに売上高を押し上げた。

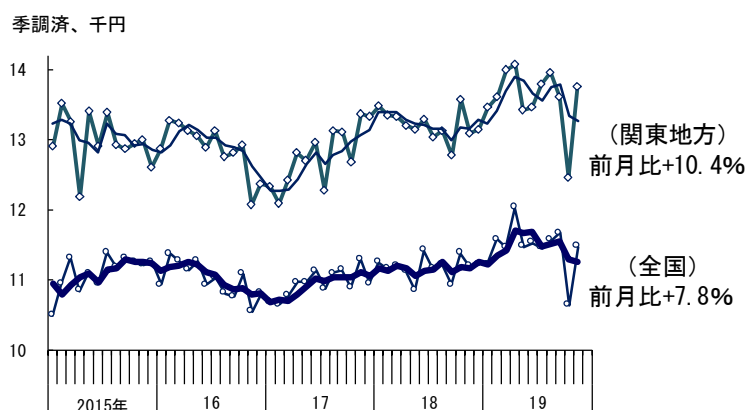
1. 2019年11月の家計の実質外食支出は全国、関東ともに前年比プラス

総務省「家計調査」に基づく2019年11月の1世帯あたり実質外食支出（用途別分類、2人以上の世帯、学校給食を除く、実質化および季節調整は浜銀総合研究所が実施）は、全国が前月比7.8%増（前年同月比0.9%増）、関東地方が同10.4%増（同5.0%増）となった（図表1）。前月の19年10月は台風19号上陸の影響等により全国、関東地方とも大きく落ち込んだが、関東地方は前々月（19年9月）の水準を回復した。また、全国は19年9月の水準には届かなかったものの、回復に向けた動きとなった。

2. 外食チェーンでは客数と客単価が前年同月比プラス

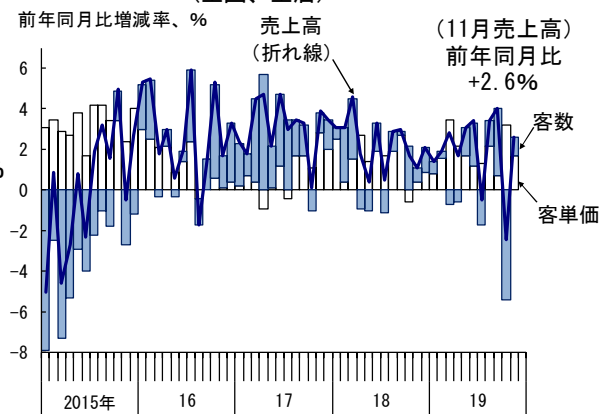
他方、一般社団法人日本フードサービス協会が発表した「外食産業市場動向調査」によると、大手外食チェーンの2019年11月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比2.6%増となった（図表2）。売上高の内訳をみると、客単価（同1.7%増）、客数（同0.9%増）がともに売上高を押し上げた。一般社団法人日本フードサービス協会によると、一部の外食チェーンでは前月（19年10月）から実施されている消費税率の引き上げの影響がみられたとのことである。しかしながら、当月は前年同月に比べて土曜日・休日・祝日の合計日数が1日多く、また全国的に天候に恵まれたことなどから、外食チェーン全体の客数が前年同月の水準を上回り、外食売上高は持ち直した。

図表1 実質外食支出は大幅増
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：総務省「家計調査」の用途別分類「一般外食」。
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比プラス
（全国、全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. 「ファストフード」の客数が高い伸び

前頁のとおり2019年11月の外食チェーンの客数は前年同月の水準を上回ったが、業態別の客数の変化には違いがみられる(図表3)。「ファストフード」の客数は前年同月比2.7%増と高い伸びとなり、外食チェーン全体の客数の伸びを牽引した。この要因として、軽減税率が適用されるテイクアウトが利用出来ることや、日本マクドナルド株式会社がUber Eatsの宅配手数料を期間限定で無料にしたことで宅配利用客が増加したこと等があると推察される。

一方、「ファミリーレストラン」の客数は前年同月比0.9%減と前年同月の水準を下回った。内訳をみると、2018年4月以降、「洋風」と「和風」の客数は前年同月比マイナス、「中華」と「焼肉」の客数は同プラスという傾向が続いており、足元では前者と後者の前年同月比増減率の差が拡大しつつある(図表4)。一部のチェーンは「洋風」、「和風」の閉店や他業態への転換等の動きを加速しつつあるとみられる(図表5)。

図表3 業態別の外食産業売上高(2019年11月、全店)

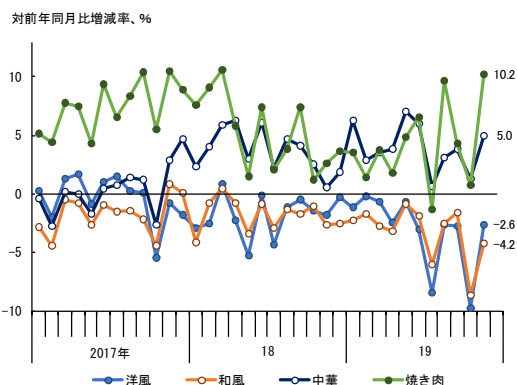
業 種					
店舗数	売上高	店舗数	客数	客単価	
全 体	35,342	2.6%	-0.1%	0.9%	1.7%
ファストフード	19,273	4.1%	0.6%	2.7%	1.4%
洋 風	6,336	6.1%	-0.2%	5.3%	0.8%
和 風	5,216	3.9%	1.7%	1.4%	2.5%
麵 類	3,241	-0.2%	1.5%	0.1%	-0.4%
持ち帰り米飯/回転寿司	1,889	3.1%	-1.0%	0.8%	2.3%
その他	2,591	3.1%	0.2%	-0.8%	4.0%
ファミリーレストラン	9,667	1.9%	-0.4%	-0.9%	2.8%
洋 風	4,870	0.2%	-1.1%	-2.6%	2.9%
和 風	1,939	-3.6%	-2.2%	-4.2%	0.6%
中 華	1,449	7.0%	1.9%	5.0%	1.9%
焼き肉	1,409	10.2%	2.8%	10.2%	0.0%
パブ・居酒屋	2,253	-1.5%	-2.7%	-1.7%	0.2%
パブ・ビアホール	344	0.6%	-0.6%	0.6%	0.0%
居酒屋	1,909	-2.1%	-3.1%	-2.5%	0.5%
ディナーレストラン	1,032	4.1%	-1.8%	2.8%	1.2%
喫茶	1,856	3.3%	1.3%	-1.6%	5.0%
その他	1,261	-9.4%	-3.3%	-13.0%	4.1%

注1：全店とは、既存店と新規店の合計。

注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。

出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

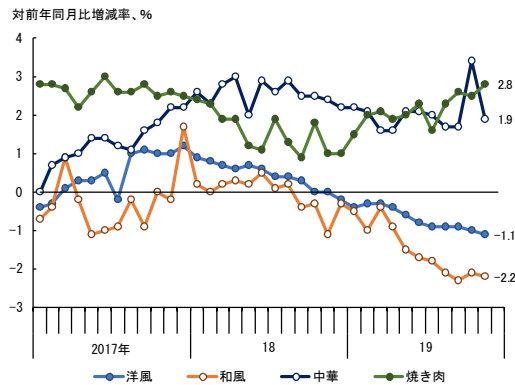
図表4 ファミリーレストランの客数の推移(全店)



注：全店とは、既存店と新規店の合計。

出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

図表5 ファミリーレストランの店舗数の推移(全店)



注：全店とは、既存店と新規店の合計。

出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。